



【学校教育目標】

～ 郷土を愛し、たくましく生きぬく子ども ～

【9年間で目指す児童像】

～ 思いやり、創造力、すこやかな体を持ち、

未来を担う 白根こまっ子 ～

令和7年10月10日 No11 文責 保坂 泉(校長)

“運動会”って最高です！

10月5日(日)に秋季運動会が開催されました。今年度も延期という形になり、これも校長の行いの悪さが影響しているのではと反省しきりです。過ぎてみると4日(土)に行えたのかもしれませんが、多くの天気予報から情報を収集し、児童の健康面、競技・演技の安全面等、様々なことを考慮して判断を下しました。土曜日でなければ参観することができなかった皆様には、大変申し訳なく思っております。心よりお詫び申し上げます。



しかしながら、当日は多くの方々のご来校がありました。1年生から6年生まで全員が、この日を心待ちにしていたのでしょう。これまで取り組んできた成果を発揮しようと、生き生きと顔つきで目を輝かしていたことがとても印象に残っています。6年生にとっては、小学校生活最後の運動会。1年生にとっては初めて広い校庭での運動会。一生の思い出になるものになったのではないのでしょうか。この取組を通じて、児童は大きな成長を遂げてくれました。特に6年生は最上級生としての自覚と責任感に溢れ、下級生をリードしてくれました。言動も堂々としたものとなり、頼もしさを感じさせてくれました。この姿を下級生たちは、今後の手本としてくれると信じています。6年生は卒業まで残り半年を切り

ました。多くの財産を残していってくれることを願っています。また、下級生においては、困難に立ち向かっていける粘りを身につけられたと感じています。難しいことや苦手なことを諦めずに挑む心が徐々に育ってきたと感じています。今後、どんなことにも“CHALLENGE”し続ける人であってほしいと願っています。「器が人を変える」なんて言われますが、学校においては「行事が子供を育てる」なんて言われます。その行事の取組を通して、これから必要とされる“力”を少しずつ身につけていきます。体験することは楽しさばかりに目が行きがちですが、多くのことを経験することが次に生かされる糧となっていくます。成功体験も失敗体験も積み重ねられて次に生かされていきます。ただ、それには支えてくれる人が必要になります。ご家庭の方だったり教師であったりします。閉会式の感想発表をしてくれた6年生の言葉の中にありました。「保護者の方や地域の方、先生方が支えてくれたから・・・。」これまで一人一人の児童を支えていただき感謝しております。私たち教職員も児童一人一人に真摯に向き合い支えておるところです。これからも家庭と学校とで連携して、児童がよりよい成長が育められるよう、ご支援とご協力をお願い申し上げます。運動会だけでなく、学校生活は児童一人一人が主人公です。そんな学校を目指していきます。



《運動会 COLLECTION》

※運動会の一コマです。全員の児童を載せられなくて申し訳ありません。



【校長の独り言・・・】 毎年思います。運動会っていいなあって。熱くなれる。子供たちと一つになれる。感激させてくれる。教師になって嬉しいと感じる行事の一つです！自分も最高の一日を過ごすことができました。